

今日のトピック 米国の株式市場（2016年9月） 調整は一時的で堅調さを取り戻そう

ポイント1 金利上昇で株価調整 長期金利は2カ月半ぶりの高水準

- 米国市場は、9月9日、米連邦準備制度理事会（FRB）の追加利上げ前倒しの見方が強まったことで、長期金利が上昇、株価は調整しました。10年国債利回りは1.675%とおよそ2カ月半ぶりの高水準を付け、NYダウも1万8,085.45ドルと約2カ月ぶりの安値を付けました。

ポイント2 長期金利は低水準で推移 株価の重石にはならない

- 長期金利が上昇しましたが、今後は低水準で推移すると思われます。米国の物価は低位で安定して推移しており、急上昇は見込みにくい状況です。また、米国の債券は主要国の中で相対的に利回りが高く、投資マネーが流入するなど米国債券市場を巡る環境は良好です。FRBが緩やかな引き締め策をとる限り、長期金利の上昇は限定されそうで、株式市場の重石にはならないと考えられます。
- また、企業業績が堅調に推移していることも株価を支える重要な要因です。2000年以降でみると、金利上昇局面では1株当たり予想利益（予想EPS）も拡大しています。今回も来年にかけて企業収益の改善が見込まれています。



(注1) データ期間は2000年1月～2016年9月。月末値。2016年9月は12日。網掛けは金利上昇局面。
(注2) 予想EPSは12カ月先、NYダウベース。Bloomberg L.P.の予想。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 調整は一時的で堅調さを取り戻そう

- 9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）での利上げの可能性は後退しています。ただ、年内に利上げに踏み切る公算は高いと考えられ、株式市場は当面神経質な展開が続くと思われます。利上げに踏み切っても、物価の安定と長期金利の低位での推移という良好な金融環境が継続す

る可能性はあると思われます。また、新興国経済への影響も考えれば利上げは慎重に行わざるを得ず、現在の金融秩序を激変させることは避けられると思われます。企業収益の改善も見込め、米国株式市場は金融、業績の両面から次第に堅調さを取り戻すと考えられます。

ここもチェック! 2016年9月 7日 最近の指標から見る米国経済（2016年9月） 2016年9月 5日 好調を維持する米国の「投資適格債」市場（米国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。